言語活動の充実に関する実践事例

学校名（廿日市市立四季が丘中学校）

① **教科等**　技術・家庭科（家庭分野）　② **学年**　第１学年
③ **題材名**　わたしたちの衣生活　～衣服材料の性質を知り，実生活に役立てよう～
④ **本時の目標**　既製服の表示と選択に当たっての留意事項がわかる。
⑤ **学習の流れ**（５時間目／全７時間）

【言語活動の充実】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕（評価方法）
1　材料の違う数種類のポロシャツを提示して，購入するならどれを選ぶか。その理由も説明できるようにする。	・教室内の数か所にポロシャツを置き，生徒が自由に手にとって見られるようにする。	
2　選んだポロシャツについて意見を発表する。 3　本時のめあてを確認する。	・組成表示を見た生徒がいたかどうか全体で確認するとともに，その理由も聞く。	
衣服の材料の特性を知り，既製服を購入時するときに気を付けたら良いことを知ろう。		
4　衣服材料の実験を行う。 実験１　しわのでき具合 実験２　水分吸収 実験３　かわき具合 ①班ごとで実験結果をまとめる。 ②実験結果を全体で交流する。 ③衣服材料の特徴をまとめる。 5　材料だけで既製服を選ぶなら，どのような材料を選びたいかを考える。	・実験で体験者が，感じたことや考えたことを班員にわかりやすく伝えさせる。 ・体験者が伝えたことをもとに，班員で特徴をまとめさせる。 ・班でまとめた内容を簡潔に発表させる。 ・自分が選びたい既製服を材料の特徴を根拠に文章でまとめさせる。	
6　全体交流で，本時のまとめを行う。	・近年，技術の発達により，吸湿性のあるポリエステルもあることなどを補足説明する。 ・既製服の選択に必要な観点をまとめ，ワークシートに衣服を購入するときの留意点について整理させる。	・既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。 〔生活や技術についての知識・理解〕（ワークシート）

設定した言語活動を通して育てたい力

○　科学的根拠をもとに，衣服材料の性質により衣服の機能性や着心地が違うことを理解して表示を見ることができ，衣服の選択に役立てることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

○　実験をもとに，衣服材料の性質をまとめる。
○　根拠を明らかにするためにワークシートを工夫する。
○　模範回答を用意し，生徒に付けさせたい力を明確にしておく。